3M Science. Applied to Life.™

クリーンな作業環境は業績と顧客満足の向上につながるのか？



自動車修理工場は通常、作業工程から発生するほこり（粉塵）が多く、汚れているという一般的なイメージがあるのは否めません。
そのため、多くの自動車修理工場はそれを当たり前とし、作業場の清潔さについて真剣に取り組んできたところは少なく、その多くが常に入庫があり、作業効率を重視し納品までのスピード、事業拡大をすることに注力しているショップが多数なのではないでしょうか。
安全かつクリーンな作業環境を追求すると、より多くのことを検討する必要があります。ヨーロッパをはじめとする世界の多くの地域では、ショップや作業場は非常に清潔である傾向があり、より質の高いオペレーションを提供していると考えられています。
実際にそうであるかどうかにかかわらず、クリーンな作業環境は提供するサービス品質にも影響を及ぼします。

昨今、ヨーロッパにおける環境および職場安全規制の強化により多くの工場やショップは集塵システムを採用しています。
工場やショップは規制に順守し、集塵システムを使用することにより、研磨プロセスを通じて発生するほこり（粉塵）を軽減することが厳しく求められています。米国の一部の州や都市では規制が導入され始めていますが、それはまだ国の多くの地域にとって新しい概念であり、そのためまだ市場には浸透していません。
過去にそれを試みた米国のショップの多くは、工具から大きなホースが出ているために技術者の抵抗があったこと、および集塵の価値提案に対する理解が不足していることがわかりました。



研磨工程：

当初の集塵システムは、大掛かりな配管工事や基礎工事を必要とする、1台の大型集塵機で作業場全体を集塵するという方法でした。
これらのシステムでは大型の固定式集塵機を使用し、作業場に配管を張り巡らし、異なる工程で発生する異物を集塵する必要がありました。
人気が高まりつつあるもう一つの選択肢は、移動式集塵ユニットです。
このタイプのシステムは、小型の移動式集塵機を使用するもので、作業から作業へとショップ内を自由に移動させることが出来、一度に 2 人の技術者が使用することも可能です。
ほとんどの場合、ショップはすべての技術者に集塵装置を装備するために、数台の移動式集塵装置に投資することになります。
移動式オプションは、汎用性が高く、作業場のどの場所でも移動できるため、あらゆる規模の施設にとって非常に実用的な選択肢の1つです。もう一つの集塵オプションは、自己発生型バキュームサンダーです。
このタイプのサンダーは、空気圧とベンチュリ原理を使用して、粉塵をツールから集塵バッグまたはホースに引き込みます。
このタイプは、集塵の効率は高くありませんが、集塵システムを導入するよりも低コストで抑えることができます。

クリーンな作業環境を作り出すために検討すべき事項は？：

1. 埃や粉塵の発生源を考えてみましょう。ほとんどの場合、顧客から車を預かった際の車の状態はきれいではありません。
   多くの自動車修理工場が犯している過ちのひとつは、入庫前に車両を清掃していないことです。簡単な水洗いであれ、現場での洗車であれ、修理前に車両を清掃することで、汚れや埃、汚染物質がショップ店内に流入してしまうのを減らすことができます。

2. 作業場のレイアウトも重要な要素です。切削、研磨、塗装、磨きスペースが混在しないようにします。
   1 つの作業で発生した汚染物質が、作業工程、仕上がり品質に問題を引き起こす可能性のある別のエリアに容易に入り込んでしまうのは避けるべきです。粉塵が発生する場所に粉塵を閉じ込め、作業場内の特定の場所をカーテンや壁で隔離することが重要です。
   こうすることで、ショップ内のあるエリアから別のエリアへの汚れやほこりの移動による余分な二次汚染を減らすことができます。

3. 空調や暖房の効いた施設内では、埃や汚染物質で詰まってしまう可能性もあるため、粉塵の量を減らす必要があります。

4. ほこりの最大の発生源は研磨工程から生じます。ボディーフィラーとプライマーのほこりは、作業場の清潔さに大きな影響を与えます。
   作業場のレイアウトと技術者のニーズに合った集塵システムを決定すべきです。それが大型・集中型集塵機または移動式ユニットであるかどうか、これはショップを清潔に保つための鍵となります。
   集塵システムを使用し始めると、使用する研磨材もそれに適合したものに変更する必要があります。
   使用される研磨材は、ユニットに適合した集塵穴タイプのものにする必要があります。そして、ショップがのり付き研磨材を使用している場合は、ワンタッチ式―面ファスナータイプの研磨材に切り替える必要があります。
   ダストフリーのワンタッチ式―面ファスナータイプの研磨材を使用している場合は、集塵システムを最適化する必要があります。

5. 粉塵が発生する工程は多くあります。粉塵の大半は、ダブルアクションサンダーとハンドブロックから発生します。
   そのため、サンダーとブロックには集塵機能が必要です。
   最適化されたシステムには、集塵ユニット、工具を接続するホース、ダストフリーサンダー、ダストフリーブロック、整理されたワークステーション、集塵に優れた研磨材、システムを接続するアダプターが含まれます。

粉塵のない、よりクリーンなショップは、他にも様々な形でビジネスの成功、収益化に影響を与えます：

- ショップや作業場をクリーンに保つプロ意識が、お客様の修理に対する期待や満足度に好影響を与え、新規顧客やリピーターの獲得につながります。

- 塗装で発生するブツ・ゴミなどが減り、修正に費やす時間や使用する副資材が減るため、生産効率が向上します。

- 技術者が作業場の清掃に費やす時間を削減することで、作業時間を増やし、より多くの車を処理することができます。

- 毎日 1 台でも多く処理することができたら、どのようなことができるでしょうか?これらの要素はすべて、あなたのショップ運営方法を少し見直すことで実現します。クリーンなショップ環境について改めて振り返り、それに投資することを検討してみましょう。そうすることで、より生産性の高い技術者を長く定着させるだけではなく、生産効率の向上、想像もしていなかったような組織の成長など、ビジネスに大きな影響を与えることでしょう。

自動車補修製品に関する詳しい情報はこちら：

https://www.3mcompany.jp/3M/ja_JP/collision-repair-jp/

執筆 : アダム・スパー (3M Automotive Aftermarket Division テクニカルスペシャリスト)

3M は 3M 社の商標です。
© 3M 2024. All rights reserved

メールアドレスをご登録いただくと、自動車補修の新製品やWebセミナー等に関する情報をいち早くお届けします。お申し込みはこちら ▶

http://go.3M.com/53er